

- ✓ 博報堂では、職種や事業領域、得意先の業種、担当業務、勤務地など様々な越境の機会があります。
- ✓ 今後、戦略・クリエイティブ・メディア・デジタルが一貫した企画提案や、事業やデジタルインターフェースといった新しい領域への拡張が求められる中、越境体験で身につく統合力や応用力は、ますます重要になるといえます。

## CS異動の越境の例

例

制作担当×  
メディア担当

- メディアの特性を生かすという視点から、制作の企画を考えられるようになった

例

MP局担×ブランド  
エージェンシー業務

- メディアのソリューション開発において、広告主・スポンサーのメリットを十分に作り込めるようになった

例

戦略×  
クリエイティブ

- ブランド戦略と表現・顧客体験・施策を一気通貫で構想し、制作をディレクションすることができる

例

マーケティング  
コミュニケーション×事業

- 得意先責任者と事業の収益設計をひざ詰めでやった経験から、事業視点でのコンサル業務を獲得できるようになった

例

博報堂BP職×グループ  
のデジタル専門会社

- デジタルチームがどんな工数でどんな稼働をしているかの理解が深まり、デジタル領域の管理レベル、得意先への報告・説明レベルが格段に上がった

例

本社マネプロ職×  
BP職

- 会社の戦略や組織運営などのマネジメントサイドを経験したことで、得意先経営層と感覚や悩みを共有して対峙できるようになった

# キャリア ストレッチ異動 (第二配属)とは

入社3年が経過し、成長曲線が緩やかになってきたタイミングで  
強制的に「越境によるストレッチ」を創出し、  
アソシエイト期の成長をブーストすることをねらいとした、成長促進のための制度

- ✓ 担当得意先群の業種や担当業務、職種、勤務地などを変化させ、初配と異なる挑戦の機会を提供することで、「掛け算の成長」を生み出します。

## 成長曲線イメージ



エントリー

1 年目

マーケティングビジネスの基礎的な知識を有し、個別の担当業務を責任をもって遂行する。